

【年間指導計画】

(一) 対象
ア 学年

高校二年生

(二) 指導目標

- 一、文章を書く方法に習熟させることで、苦手意識を取り除き、抵抗なく文章を作成しようとする姿勢を作る。また、様々な種類の文章を数多く書き、練習を積むことで文章の作成に慣れ、就職や進学の際の作文・小論文などの対策とする。
- 二、文章の作成を通して様々な物の見方・とらえ方・考え方ができるようにする。
- 三、語彙を増やし、豊かな言語生活を営むことができるようにすることで、人間としての幅を広げる。

(三) 年間指導計画

通年 故事成語・ことわざ

一回の授業で一つずつ故事成語・ことわざをあげ、その意味・成り立ちを解説するとともに例文を一つあげ、その言葉を使って短文を作らせる。

第一次 導入 一語作文

自分を動物にたとえる

その動物はどんな性質を持っているか、それに対して自分はどういう性格なのか、最後にまとめて自己紹介とする。

第二次 文の書き方

主述の一致など、作文上の基本事項を習得させる。

悪文を提示し、訂正させるなど、問題演習形式で行う。

第三次 文章の書き方

主題の設定、取材、構想、記述、推敲の流れをとらえさせる。

自己紹介文を実際に書くことを通じて具体的に体得させる。

演習として、自分の好きな歌の歌詞を一つあげ、それを紹介させる。

第四次 感想文の書き方

感想文とはどんなものを把握するため、見たものをそのまま言葉に置き換える作業をさせる。

次の段階として、感想文の書き方に進む。

TVのCMを文字化させ、その感想を書かせる。次に、『夢十夜』（夏目漱石）第一夜、三夜、七夜を読み、感想文を書かせる。また、自分の見た夢を描写させる。

第五次 手紙の書き方

手紙の書き方の基本的事項の習得をさせる。

様々な状況で実際に手紙を書いてみさせる。（父、母、恋人、遠くに行った友人など）

『舞姫』（森鷗外）を読んで、エリスへの手紙、相沢への手紙を書かせる。

第六次 意見文の書き方

意見文の性質を知り、取材の仕方やその構成方法など、書き方を習得させる。

「猫の安楽死」の実践を通して具体的に習熟させる。

演習として、「松井に対する敬遠を認めるか認めないか」について、意見文を作成させる。